

「執心鐘入」星四つ 仏で高評価

フランスで開催中のアビニヨン演劇祭に、県内から自主参加している組踊「執心鐘入」が、20日付の現地紙「ラ・プロバンス」の批評で2番目に高い四つ星を獲得した。同じく県内から参加した舞踊劇「沖縄燦燦」も四つ星を得ており、快挙が続いている。どちらも県の沖縄芸術活用プロジェクトの一環で参加した。

今回の「執心鐘入」は、新里春加さんから女性だけで役者を固めたのが特徴だ。指導は宮城能鳳さん、構成は嘉数道彦さん。宮城さんは「組踊は男性だけで演じることが多いが、女性でも世界から評価を得ることができた」と喜んだ。嘉数さんは「海外でも様式は変えず、最小限の説明で楽しめるよう心掛けた」と話した。



読んで広がる
NIE